

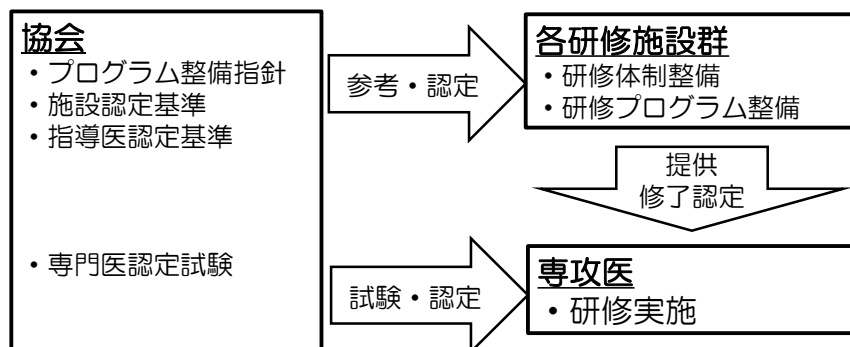
令和6年度 研修プログラム統括責任者連絡会議

研修プログラム認定委員会

一般社団法人社会医学系専門医協会
研修プログラム認定委員会
委員長 大久保靖司

1

研修制度の構成



2

専門研修施設群

○研修基幹施設

- ー研修プログラム管理委員会
- ー研修プログラム統括責任者
- ・研修連携施設
- ・研修協力施設
(実践現場の学習)



研修基幹施設の役割

- ・研修プログラムの作成・運営
- ・研修の修了認定
- ・研修内容の検証

＊問題があるプログラムについては、
サイトビジットを実施

3

研修施設の要件

○研修基幹施設

- ・1名以上の指導医が在籍していること
- ・研修プログラム管理委員会が設置されていること
- ・研修プログラム統括責任者が任命されていること
- ・プログラム運営を支援する事務体制が整備されていること
- ・行政・地域、産業・環境、医療の3分野のうち、
1分野以上の専門研修の全体または一部を提供できること

○研修連携施設

- ・1名以上の指導医が在籍していること
- ・行政・地域、産業・環境、医療の3分野のうち、
1分野以上の専門研修の全体または一部を提供できること

4

研修プログラム管理委員会

○委員会の機能

- ・研修プログラムの作成
- ・専攻医の学習機会の確保
- ・継続的・定期的に専攻医の研修状況を把握するためのシステム構築と改善
- ・適切な評価の保証
- ・修了判定等

○委員会の構成

プログラム統括責任者、専門研修連携施設における指導責任者、関連職種の管理者

○開催頻度

専攻医がいる場合、最低年2回

専攻医がいない場合、最低年1回

※1回は、集合により開催が望ましい。

5

連携拠点機関（都道府県医師会）

- ・地域における連携を深めるため、**都道府県医師会を連携拠点機関**として位置づけることができる。その際、研修協力施設および連携拠点機関においては、**指導医資格者の有無は問わない。**

研修プログラム管理委員会の構成は、以下のとおりとする。

- ・プログラム統括責任者
(中略)
- ・**連携拠点機関の担当責任者**(連携拠点機関が定められている場合)
(後略)

6

研修プログラム統括責任者

○責任者の要件

- ・指導医であること
- ・研修基幹施設に所属していること
- ・協議会が開催する統括責任者研修会を修了していること

○責任者の役割と権限

- ・研修プログラム管理委員会の主宰
- ・専攻医の採用および修了認定
- ・指導医の管理および支援

＊プログラム統括責任者あたりの最大専攻医数はプログラム全体で20名以内とし、それ以上になる場合には、プログラム統括責任者の要件を満たす者の中から、20名ごとに1名の副プログラム統括責任者を置く。

＊研修基幹施設が複数の場合には、各施設から統括責任者または副統括責任者を出す。

7

研修医登録のフローの変更

ホームページ《専攻医登録》画面

<http://shakai-senmon-lumin.jp/specialist/>

専攻医

専攻医登録

2025年度専攻医登録からWEB申込にて受付を行っております。

専攻医を希望する医師は、希望する研修プログラム（管理委員会）へ連絡し、よく相談のうえ、下記《専攻医登録ページ》よりお申込ください。

（＊）およびQ1～Q10は、専攻医登録の必須項目となります、必ずご確認ください。

専攻医登録ページ

なお、研修期間開始は専攻医のWEB登録から3か月まで遅れるものとします。

年間登録料は、web登録日の翌月以降に行われる各プログラム管理委員会にて承認が下りた後、払込票付請求書を発行いたします。

請求書が発行される前に当金口座へ直接お振込みいただくことはお控えください。

払込票ではなくお振込でのご納付をご希望される方は、請求書がお手元に届きましたら、請求書添付欄記載の会員番号を明記のうえ、その旨協会事務局（bophom@sses-mail.jp）宛ご連絡をお願い申し上げます。

① 専攻医登録フローチャート

② 専攻医登録WEB申込方法

8

研修医登録のフローの変更

③ 専攻医通知

社会医学系制度専門医制度
専攻医希望者 一覧

発行日：2025/1/30

プログラム名

0

	専攻医希望者氏名	所属先
1		0

※貴プログラムへの専攻医登録希望者は上記のとおりです。
下記専攻医登録承認フォームより専攻医希望者の「専攻医登録」に
ついてご回答をお願いいたします。
ご回答いただいた翌月以降、「承認する」とした専攻医の登録番号
等を貴プログラム宛郵送いたします。

<https://forms.gle/mTitDzcKxHi7ZePFA>

9

研修医登録のフローの変更

④ 研修開始日・登録番号通知

社会医学系制度専門医制度
専攻医登録番号 一覧

プログラム名

0

研修開始年月

2025年4月

	専攻医名	登録番号	郵便番号	住所	E-mail1	所属先
1		修25 - 0	0 0		0	0

10

最近問い合わせのあった事例

- 特例措置で専攻医が専門医・指導医を取得した場合の研修プログラムの離脱の手続き
 - 在籍していた研修プログラム管理委員会にて研修終了（修了ではない）を確認。
 - 定期報告にて、専門研修プログラム認定委員会に特例措置で専門医・指導医を取得し、専門研修を終了となったことを報告。

11

専門研修の状況

- 現在のプログラム数76プログラム
- 特例措置で専攻医が専門医・指導医を取得した場合の研修プログラムの離脱の手続き
 - 在籍していた研修プログラム管理委員会にて研修終了（修了ではない）を確認。
 - 定期報告にて、特例措置で専門医・指導医を取得したことを報告。

12

研修計画 専攻医番号 17-170000 専攻医氏名 社会 太郎		研修年 2017年/2018年 担当指導医(主な者一人) 公衆 一郎	
基本プログラム ※ 受講予定の研修分野の記載等	公衆衛生総論 公衆衛生学会 保健医療政策 E-ラーニング 疫学・医学統計学 E-ラーニング	実践現場での学習、副分野2 ※ 経験者を予定している研修内容について記載する。	副分野名: 医療 (総括) 医療・健康情報の管理 ・地域包括医療システムにおける健康情報の取扱いに関する勉強会に参加する。 (各論) 大規模災害対策 ・DMAT研修、災害医療システム連携運営会議に出席し、クライシスマネジメントとしての対応を学ぶ。
実践現場での学習: 主分野 ※ 経験者を予定している課題について、総合的な課題と各論的な課題に分けて 課題の内容、情報収集・分析、解決方法について、記載する。	「行政・地域」 (総括) プロジェクトマネジメント ・感染症対策として課題を抽出し、施策を企画立案する。 (各論) 保健対策、医療・健康関連システム管理 ・地域連携、地域包括医療システムに関する会議・研修に参加する。	学術活動 ※ 研究テーマ、研究の進捗、学会発表等について記載する。	○○学会において、△△について報告する。 ××大学○学部において、外来講師として△△について講義する。 ××大学○学部の保健所研修を担当して行政医師の役割を説明する。
実践現場での学習: 副分野1 ※ 経験者を予定している研修内容について記載する。	副分野名: 産業・環境 (各論) 職場環境衛生 ・連携機関で開催される産業保健ケースカンファレンスに参加する。	自己学習 ※ 重点を置いて行う自己学習のテーマや内容について記述する。	統計基礎知識の習得 関連法令に関する知識の習得 コミュニケーションスキル研修への参加

情報の収集、分析、計画立案、実行などの区分やPDCAサイクルの区分がわかるように記載することが望ましい。
また、リスクマネジメントやクライシスマネジメントなどキーとなるコンセプトを含むときなどはそれも記載することが望ましい。

基本プログラム

- 7科目（7コマ/科目）
- 受講方法
 - 学会開催時の集合教育
 - E-ラーニング
 - 公衆衛生大学院等におけるプログラム

科目	内容タイトル	プログラム主催団体名	受講年月日	備考
公衆衛生総論	歴史から見た公衆衛生行政	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	公衆衛生の概念、行政の仕組みと法根	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	健康政策総論	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	公衆衛生研究概論	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	地域の公衆衛生課題とその解決	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
保健医療政策	グローバルヘルス	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	公衆衛生法における医師の役割と人材開発	日本公衆衛生学会	2017/9/15	
	保健医療政策概論	E-ラーニング	2018/5/1	
	社会保険制度1	E-ラーニング	2018/5/1	
	社会保険制度2	E-ラーニング	2018/5/2	
	保健医療政策各論1	E-ラーニング	2018/5/2	
	保険医療政策各論2	E-ラーニング	2018/5/2	
	医療改革の動向	E-ラーニング	2018/5/3	
	保健医療関連の計画	E-ラーニング	2018/5/3	

実践現場における学習

実践現場における学習 総論的な課題

課題名	実施年月日		実施場所、実施機関名等	内容
	実施開始日	実施終了日		
プロジェクトマネジメント	2017/9/1	2018/2/28	〇〇保健所	〇〇保健所長と地域における感染症対策ネットワークの構築の企画立案を行った。基幹となる医療機関にネットワーク構築についての意見交換を個別に実施し、企画へのフィードバックを行い、基幹となる医療機関へのネットワークへの参加の打診及びネットワーク構築に関する勉強会を連日、コンセンサス形成と課題の洗い出しを実施した。その後、域内の全病院に向けて講演会を開催すべく、事務局として準備を行った。講演会の後に参加者に対してネットワークについての意見を募集するふりかへに、久保野に資料等の送付と意見の募集を行った。

課題名に呼応するように、実施した内容が具体的にわかるように記載するようにする。

専門医試験における面接では、この内容を更に踏み込んで聞くことになるので、経験内容や状況がわかるように、また簡潔に記載する。

実践現場における学習 各論的な課題

科目	項目	分野	実施年月日		実施場所、実施機関名等	実施内容(具体的に書いてください)
			実施開始日	実施終了日		
3) 環境衛生管理(項目11~13)	職場環境衛生(項目13)	産業・環境	2017/10/11	2017/10/11	〇〇工業株式会社	健康診断におけるヒートショック等の設定及びエスガレーションルールについてを医師と現場と事業医の間に検討した。
3) 環境衛生管理(項目11~13)	職場環境衛生(項目13)	産業・環境	2017/11/11	2017/11/11	〇〇工業株式会社	作業中に意識消失事件によって発生した転倒事故の再発防止について検討した。 来年から導入予定の新機種の原料の危険有害性評価を行った。

学術活動

学術活動

種別	実施年月日		実施場所、実施機関名等	内容
	実施開始日	実施終了日		
学部生や大学院生等教育・指導	2017/11/17	2017/11/17	〇〇医師会	日本医師会認定産業医研修会「公衆衛生行政と産業保健」講師
学術研究実施	2017/9/20	2017/9/20	××県市民ホール	〇〇学会「△△△△の質的分析」ポスター発表
学部生や大学院生等教育	2018/9/8	2018/9/12	〇〇保健所	学部学生の保健所研修の受け入れ
住民やその他利害関係者への情報発信	2017/12/16	2017/12/16	〇×市教育会館	公開市民講演「今日の感染症対策」講師

自己評価

A: 十分である/適切である
B: 一部十分である/一部適切である
C: 不十分である/不適切である

自己評価の記録(1)

専攻医番号 修17-172000 専攻医氏名 社会 太郎	
評価項目	選修評価
基本プログラム ※ 修了した研修分野の記載等	公衆衛生 総論は予定通りに受講できた。 保健医療政策、疫学・医学統計(学)は連休中に分割してe-ラーニングで受講し、受講記録を作成した。
実習現場での学習・主分野 ※経験した課題について、包括的な課題と各論的な課題に分けて 課題の内容、情報収集・分析、解決方法について、記載する。	選修内容: 感染症対策の課題として地域ネットワークの構築を取り上げ、ステークホルダー等と意見交換、勉強会を通じて課題の抽出ができた。
実習現場での学習・副分野1 ※経験した研修内容について記載する。	副分野名: 産業・環境 選修内容: 月1から2回開催される産業保健に関するカンファレンスに参加できた。また、年後半からは化学物質の危険有害性評価において文献的検討などを分担担当できるようになった。
実習現場での学習・副分野2 ※経験した研修内容について記載する。	副分野名: 医療 選修内容: 地域包括医療システムにおける健康情報の取扱い勉強会に参加した。
学術活動 ※研究テーマ、研究の進捗、学会発表等、活動状況について記載する。	計画通りに学会報告、医師会での講師、学部学生の実習における指導などを行った。

達成状況の評価

評価項目	評価
専門知識(総合評価)	B
1 公衆衛生総論	A
2 保健医療政策	B
3 疫学・医学統計学	B
4 行動科学	B
5 組織経営・管理	C
6 健康危機管理	B
7 環境・産業保健	B
専門技能(総合評価)	B
1 社会的疾病管理能力	A
2 健康危機管理能力	B
3 医療・保健資源調整能力	B
学問的多勢	A
医師としての倫理性・社会性	A

担当指導医記入欄

担当指導医コメント	業務においては積極的であり、感染症対策ネットワーク企画の基本的な構想の取りまとめ及び基幹病院との意見調整など、マネジメント能力は1年の間にめざましく向上した。ただし、経験できていない分野の知識などには不十分な点が見られることから、研修期間中にできるだけ多くのテーマを担当するように勧めることが望ましい。
担当指導医記入日	2018/3/28
担当指導医氏名	社会 一郎